

「温泉湯治」を50年以上考察・研究し続け開発された
別府温泉の“湯の花エキス”配合薬用入浴剤

ゆやく
「湯躍」2019年7月発売スタート



57周年を迎えるヤングビーナス薬品工業株式会社（1962年創業 代表取締役 佐分利清）は、日本に古くから伝わる「温泉湯治」を50年以上考察・研究し開発した“湯の花エキス”配合（基剤）の薬用入浴剤「湯躍」の発売を、2019年7月22日（月）よりスタートいたします。以前より展開してきた薬用入浴剤の成分や製法はそのままに、装いをあらたに、7月17日（水）より開催されるインテリアライフスタイル展でお披露目をいたします。

医薬部外品の入浴剤に天然原料である別府湯の花を用いる極めてまれな製法は、創始者の「別府温泉に伝わる湯の花の力を、人々の健康づくりに役立てたい」「温泉の恵みを広く家庭にも届けたい」という強い想いからはじまりました。

湯躍が提案するのは、生活に根を下ろす新しい「湯治習慣」。日々の生活で実践可能な湯治習慣が健康維持の一助となることを願い温泉の持つ力を研究し続けています。

命名の由来は「湯の恩恵に^{かんきやく}歡喜踊躍す」

大地の恵みであるミネラルを内包し湧き上がる温泉。温泉は万能薬にたとえられますが、それは人にもともと備わる自然治癒力を、大自然の力と共鳴させる事で活性化して、身体の不調を改善し、健康を維持する働きがあるからです。湯の恩恵に^{ゆやく}歡喜踊躍し、内なる生命力が湧き立つ象を“湯躍”という名前で表現しています。

効能

冷え症・荒れ性・神経痛・リウマチ・しもやけ・ひび・あかぎれ・うちみ・くじき・肩のこり・腰痛・痔・あせも・しっしん・疲労回復・産前産後の冷え症・にきび



こんな悩める症状に

赤ちゃんのオムツ蒸れが…、手や足や背中をよく掻いている…、足先が冷えてなかなか眠れない…、妊活には体を温めるといいと聞いた…、足のすねに白い粉…、立ち仕事で足のむくみが…、長時間のデスクワークで肩、腰が…、家族サービスで張り切りすぎた…病後で体力を回復してほしい…、いつまでも元気でいてほしい大切な人へ… etc

クリエイティブチーム

クリエイティブディレクション&デザイン：加藤 智啓（EDING:POST） イラストレーション（パッケージ）：黒田 潔 写真：神宮 巨樹

湯躍の特長

三 湯躍には、メタホウ酸が温泉の定義の約4倍、
20mg/kg以上含まれています。

メタホウ酸含有温泉の代表例

貝掛温泉(新潟県)：21.1mg/kg

「目の温泉」として知られ、昭和初期まで「貝掛の目薬」として販売されていました。



泉質	ナトリウム・カルシウム - 塩化物温泉
適応症	一般適応症、きりきず、末梢循環障害、冷え性、うつ状態、皮膚乾燥症
特徴	メタホウ酸HBO ₃ ：21.1mg/kg

「温泉の定義」と「湯躍」の比較

メタホウ酸量 (mg/kg)



四 湯躍を溶かしたお湯は、溶存物質300ppm、
水素イオン濃度pH9.6の弱アルカリ性になります。

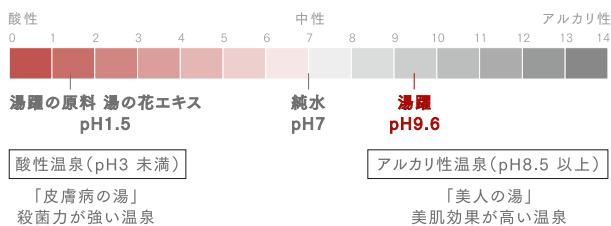
アルカリ性単純温泉の代表例

榊原温泉(三重県)：溶存物質320mg/kg pH9.6

清少納言の「枕草子」で三名泉と讃えられた名湯。肌がすべすべになることから「美肌の湯」として知られています。



泉質	アルカリ性単純温泉
適応症	一般適応症、自律神経不安定症、不眠症、うつ状態
特徴	pH9.6 成分総計320mg/kg



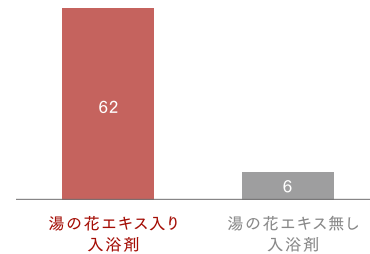
商品ラインアップ

 <p>はるがすみ 春霞</p> <p>香り 菩提樹</p> <p>色 微淡黄色 [半透明]</p> <p>ラインアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小袋 (60g) 180円 ・化粧箱7包入り 1,300円 ・円筒3包入り 1,000円 ・スタンディング袋 (1,500g) 2,700円 	 <p>げぼく 月白</p> <p>香り 睡蓮</p> <p>色 白 [[にごり]</p> <p>ラインアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小袋 (60g) 180円 ・化粧箱7包入り 1,300円 ・円筒3包入り 1,000円 ・スタンディング袋 (1,500g) 2,700円 	 <p>むく 無垢</p> <p>香り 無香料</p> <p>色 微淡黄色 [透明]</p> <p>ラインアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小袋 (60g) 160円 ・化粧箱7包入り 1,160円 ・スタンディング袋 (1,800g) 2,700円 	 <p>りょこう 緑光</p> <p>香り 花籠</p> <p>色 黄緑</p> <p>ラインアップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小袋 (60g) 160円 ・化粧箱7包入り 1,160円 ・円筒3包入り 1,000円 ・スタンディング袋 (1,800g) 2,700円 ・特用 (2,160g x 2袋) 6,000円
---	--	---	---

50余年に渡り愛されてきた商品を継承した「緑光」と、現代のライフスタイルに合わせてアレンジを加えた新たなラインアップを加え、装いも新たに登場した商品から構成されます。価格は税別価格となります。

一 湯躍に含まれる
別府温泉精製湯の花エキスは、
人間が健康維持に必要な不可欠とされる
必須微量元素(ひつすびりょうげんぞ)
15種類を網羅した微量ミネラルの宝庫です。

入浴剤に含まれるミネラルの数
湯の花エキス配合の有無で比較(当社比)



二 湯の花エキスは、温泉成分が療養泉定義の
約1,000倍の濃度で含まれ、性質は約pH1.5の強酸性です。

強酸性泉の代表例

明礬温泉(大分県)：pH1.7

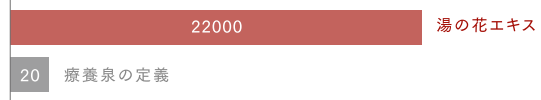
強力な殺菌力はアトピー性皮膚炎などに効果があると
言われています。



泉質	酸性・含鉄 - 硫酸塩泉
適応症	一般適応症、アトピー性皮膚炎、尋常性乾癬、耐糖能異常(糖尿病)、表皮化膿症
特徴	pH1.7 強酸性泉

「療養泉の定義」と「湯の花エキス」の比較

総鉄イオン量 (mg/kg)



パッケージバリエーション



天然ミネラルの結晶“別府湯の花”とは

別府温泉に350年ほど前から伝わる湯の花づくりがあります。ミネラルを豊富に含むこの地特有の土壤に、温泉の噴気を用いて、温泉成分を結晶化させたものを採取します。その技法はまるで湯の“花”を栽培しているかのような特殊なもの。湯の花小屋による湯の花づくりの技術は、国の重要無形民俗文化財として保護されています。

こうして作られる唯一無二の“別府湯の花”は、他の温泉地に見られる温泉に溶けきらず固まることができる、カルシウムや硫黄の沈殿物とは異なり、温泉由来の微量成分を含み、お湯に戻りやすい特長を備えています。

この特別な別府湯の花から、浸漬精製法によって湯の花エキスを抽出・精製し、混和熟成仕上げによって、強酸性を示す湯の花エキスを、肌にやさしくなめらかな湯質が特長のアルカリ性温泉の成分と掛け合わせ、ご自宅湯治習慣に適した薬用入浴剤へと仕上げていきます。

湯躍の「湯治考究」

温泉は日本人の歴史と生活に深く根ざしてきました。温泉で身体を癒す“湯治”という言葉は室町時代には既に使われています。江戸時代には「一巡り三臘(さんろう)の二十一浴※」という湯治作法が確立され、温泉療法に基づく医学書が編纂されています。温泉の治療効果が説かれるようになると湯治は大きく広まりました。しかし近年、西洋医学の流入や生活スタイルの変化により、湯治文化は影を潜め、温泉利用の目的は変わってきました。

一方、温泉は「温泉法」によって定義され、適正な利用が推進されてきました。その中で10種の泉質名を持つ「療養泉」は、とりわけ治療の目的に供しうる温泉として、適応症という効能が認められています。

湯治の在り方は時代によって変化し続けますが、温泉の効能には現代社会においても大きな役割があると考えます。湯躍は温泉の持つ力を研究し続け、生活に根を下ろす新しい湯治習慣が提案できるよう取り組んでおります。

※ 1回の湯治を一巡り7日間とし、三巡りして21日間を基本とすること。



別府の湯けむり



湯の花小屋



湯の花づくり



別府湯の花

湯の花入浴剤 誕生秘話

創始者 佐分利清一（故人）は剛直の気質に富み、若くして会社経営を軌道に乗せ、十指に余る会社を経営していました。ところが昭和25年、その一つ九州の鉱山で落盤事故が発生。人命が失われます。「いのち」の重みは大変な衝撃でした。事故をきっかけに、深く人生を顧みるに至ったのです。彼が47歳の時でした。

終戦間もない別府の地は、戦いに傷つき、疲れきった人々の大きな慰安の場所でした。その光景を目の当たりにした彼は強い感銘を受けます。『この豊かなめぐみの温泉を、誰もが使えるようにしよう。それがひいては「いのち」を大切にすることになるのならば。』と意を決します。自然科学、植物学、鉱物学を再び学び、試行錯誤、悪戦苦闘の末に、失敗と挫折を乗り越えて湯の花入浴剤の完成を見たのは昭和36年。人生の岐路に立ち、天然湯の花の研究に着手してから11年の歳月が流れていました。

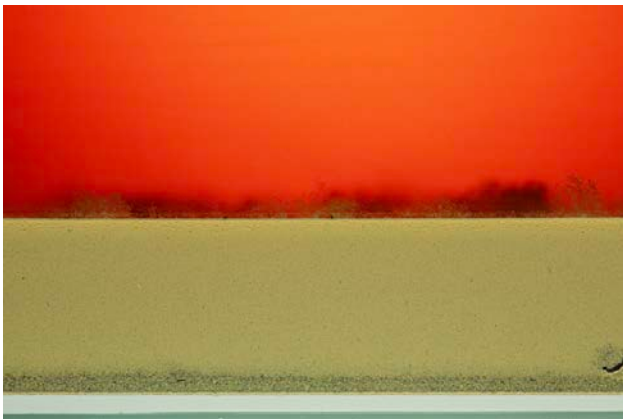
齢60間近にして、彼は自らの手で製品を作り、自転車の荷台に積み込み、一軒一軒の扉をたたき、温泉を語り、製品の効果を説きはじめました。その想いは3代にわたり受け継がれ半世紀。湯躍を支える礎となっています。

別府湯の花 浸漬精製法

別府の豊かな温泉から生まれた湯の花を、高純度品位に整えるため、湯の花の結晶成分と理想的に適合する天然温泉に融合させます。約一か月間、ろ過を繰り返し、別府湯の花の成分を余すところなく、自然にゆっくりと抽出し精製していきます。この技法を浸漬精製法と呼び、こうして作られた琥珀色に輝く液体が、湯躍の精髓、別府温泉精製湯の花エキスです。比重は水の約1.3倍。療養泉の定義における特殊成分の約1,000倍濃度の温泉成分を含みます。但し、ご家庭で毎日ご利用いただくために、風呂釜を傷め、独特な臭いを放つイオウは取り除いています。

混和 熟成 仕上げ

湯の花エキスを湯に溶かすと強い酸性のお湯になります。一般的に酸性の温泉は殺菌作用が期待されますが、刺激が強いので湯あたりに注意が必要です。そのため特性を活かしつつも、ご家庭で毎日お使いいただける理想的なお湯を求めて、湯の花エキスを肌にやさしくなめらかな湯質が特長のアルカリ性温泉の成分と掛け合わせます。酸性の湯の花エキスと正反対のアルカリ性成分を混ぜ合わせると激しく反応するため、温熱と冷却を加えることにより反応を制御しながら両者を一体化させます。さらに製品がお客様の手に届いた後も、長く安定した品質を保てるよう、20時間以上かけて熟成させます。仕上げは、手作りしていた創業当時のままに、現在も熟練の社員が反応を直に確かめながら行っています。



別府湯の花 浸漬精製法



品質管理試験



混和 熟成 仕上げ



湯の花エキス アルカリ反応の様子